

# 講師紹介

## 純子マッサーリア 第22回日本ピアノコンクール金賞

7歳よりピアノを、その後声楽、ハーブ、チェンバロ、作曲を学ぶ。ルーマニアトゥルグムレシュ国立管弦楽団ソリストとしてシルベストロ国際音楽祭に招聘され欧州デビュー。国立放送局で放映され『知的な解釈を伴うピアニスト』と高く評価される。翌年よりイタリアへ渡りさらなる研鑽を積み、数々の国際コンクールにおいて優勝、入賞、イタリア共和国大統領賞を授与される。独奏、室内楽、オーケストラソリスト、伴奏など、イタリアを中心に、フランス、スロヴェニア、ドイツ、スペイン、ポルトガルなど近隣諸国各方面で数多くの演奏活動を開始する。これまでにベートーヴェン、ショパン、シューマン、リスト、チャイコフスキー、サン・サーンス、トゥーリーナ、ラフマニノフのピアノ協奏曲を欧州各地で演奏。ドイツリートへの情熱はイタリアへ来ても冷めることなく、亡き巨匠ディートリッヒF=ディースカウに認められイタリアやドイツでのマスタークラスおよびコンサートへ招聘される。現代音楽の紹介にも積極的に、絵画や舞踏、文学との統合で書かれた総合芸術作品を作曲家より演奏依頼を受け世界初演、それらのCDがI. N. A. C. より4枚リリースされた。また自身のソロアルバム『Innamorarsi』『Bis!』はイタリア国立放送局RAIクラシック専門ラジオにて定期的に放送されている。日本においては、東京芸術センター記念ピアノコンクール、神戸芸術センターピアノコンクール、日本ピアノコンクールなどそれぞれ金賞受賞、2009年度年間最優秀ピアニスト受賞、日本芸術協会主催によるピアノマスタークラスなどの講師を務める。純子マッサーリアの演奏はピアニストとしてはもちろんのこと、作曲という視点からの読譜と解釈をもって、他の多くのピアニストとあきらかに一線を引く。光悦、そして息を呑む、唯一無二の表現力と評される独自の世界観を惜しみなく全面に出すその演奏は、一般的な批評を怖がらずに新たな曲の側面を引き出すことに成功している。ここ数年では後進の指導にも積極的に取り組み、国内外マスタークラスなどにおいてそれぞれの個性を押し潰すことなく柔軟な解釈に目覚めさせることに赴きを置いている。また新たな人材を発掘し、日本のみならず欧州での演奏機会を与えるStudio Concertoシリーズを企画監修、真に学び続けるアーティストのヨーロッパデビューを支援している。

イタリア在住 ブログ:ピアノ弾きの覚書 <https://gmpiano.theblog.me/> 好評連載中  
<https://www.instagram.com/junkowatanabemassaglia.pianist/>

## 近藤由貴 第26回日本ピアノコンクール金賞

愛知県立明和高校音楽科を経て東京藝術大学卒業。パリ市立音楽院を審査員満場一致の一等賞で卒業。パリ・スコラ・カントルム音楽院を審査員満場一致の称賛付という最高成績にてコンサート・ディプロムを取得。

テレサ・リャーナ国際コンクール(仏)、プレスト国際コンクール(仏)、スクリヤービン国際コンクール(仏)、ピアナーレ国際コンクール(独)、日本モーツァルト音楽コンクール、東京芸術センター記念ピアノコンクールにおいていずれも第1位を受賞。

その他国内外のコンクールにて数々の入賞を重ね、日本芸術センター年間最優秀ピアニスト賞を2回受賞。2024年、第26回日本ピアノコンクール金賞。

9年間フランスに在住し、ヨーロッパ各地にて多数のリサイタルやフェスティバルに出演。パリ・マドレーヌ寺院にてパドルーオーケストラ、イギリスにてBridgewater管弦楽団と共演した他、フランス国営テレビに出演。

これまでに中根順子、杉浦日出夫、辛島輝治、東誠三、須田真美子、オリヴィエ・ギャルドン、ユージン・インジック、ガブリエル・タッキーノの各氏に師事。2016年、オランダ・エトセトラレコードより、2019年、2020年にフランス・SolsticeレーベルよりCDを発売。

YouTubeにて演奏動画を配信中、YouTube「Yuki Kondo Pianist」チャンネルは登録者数9.9万人を超える。刈谷市総合文化センター・レジデントアーティスト。岡山県やかげ文化センターホール・プライマリーピアニスト。



## 施設紹介



豊かな木々に囲まれた建物



昨年のマスタークラスの様子